

ふれあい通信



特集

「コミュニティスクールを学ぶ」

社会教育主事有資格者ステップアップ研修・地区別地域連携教員研修

平成30年11月9日(金) 塩谷庁舎401会議室



学校も地域も、みんなで幸せになるコミュニティスクール

平成29年の地教行法改正に伴って、学校運営協議会の設置が努力義務化された。コミュニティスクール実現に向けての動きが活発になってきています。そこで、栃木市のコミュニティスクールをけん引されている栃木市立大平中央小学校校長・鈴木廣志先生をお招きし、社会教育主事有資格者や地域連携教員はコミュニティスクールにどう関わっていくのか、実際に学校運営協

議会はどのよう運営されているのかなど、実践を通してお話をいただきました。

「参画とは、責任の分担である」ことや「協議会の委員さんはパートナーである」ことなど、運営面からの話や、「子どもの学びを地域に広めることで地域が元気になること」「大人が子どもに関わることで大人が学ぶきっかけになること」など、協働活動によって生まれるよさを熱く語られ、あっという間に90分間が過ぎていきました。



「学校も家庭も地域もみんな幸せになりましょう。」という鈴木校長先生の熱いメッセージが込められた講話。先生方が勤務する市町や学校でどのような学校でどのように関わっていくべきかを考える好機になった様子が、アンケートからうかがうことができました。

栃木県の学校運営協議会の導入率は？

平成30年4月現在の調査結果では、公立小中学校において約23%の学校が導入しています。全校で導入している市町は4市町になっていきます。今後さらに増えていく見込です。

参加者の声

- 地域連携教員としてできることへのヒントをいただき、視野が広がりました。
- コミュニティスクールを立ち上げるにあたり、自己の役割を学ぶことができました。
- 全てをまねることはできませんが、生かせる部分を見つけて、よりよい学校、地域づくりに役立てていきたいと思ひます。

本物を体験しよう！
とちぎ子ども未来創造大学

栃木県教育委員会では、子どもたちの学ぶ意欲を高め、主体的に学習に取り組む態度を育成することを目的に、『とちぎ子どもの未来創造大学』を実施しています。

今年度、塩谷南那須地区では、矢板市・那須烏山市・高根沢町を会場に七つの出前講座を実施しました。

どの講座も、企業や大学の専門分野を生かした貴重な「本物」体験講座となりました。来年度、ぜひ各学校で多くの子どもたちに参加を呼びかけていただければと思います。



不登校児童生徒支援事業の「ふれあいキャンプ」を御存じでしょうか。

今年度、県東地区では芳賀青年の家を会場にして、木工クラフトやウォークラリー等を行いました。

この事業は、不登校児童生徒が様々な体験活動を行うことをとおして達成感や満足感を得ることに、自尊心や自己肯定感を高めるとともに集団適応力等を養い、不登校の解消や社会参加に向けてのきっかけづくりの場となっています。毎年、学悠館高等学校の生徒もスタッフの一員として参加してくれています。

御存じですか？
ふれあいキャンプ

【参加者のアンケートから】

- ・ふれあいキャンプに参加する前は集団で行動するのがいやだと思っていたが、参加してからはとても楽しくて、集団で行動するっていいなと思った。
- ・キャンプに参加する前は自分のことを否定していたが、レクリエーションなどで高校生や先生たちの話を聞いて、自分のことを少し認めてもいいかもしれないと思った。



高根沢町 生涯学習課 大貫泰寛主任主事
片岡中 大越真二教諭
氏家小 吉田正哉教諭
烏山高校 平野 聖教諭
上高根沢小 安納孝行教諭



大宮小 塚原奈美子教諭
氏家中 柿沼昌史教諭
荒川小 鶴田祐介教諭
那須烏山市 生涯学習課 小堀真季主事

平成30年度
社会教育主事講習修了生の
御紹介

今年度、本地区からは9名の方が修了されました。今後の活躍が期待されます！

